

	主な学習活動	評価規準	過程	主な学習活動	評価規準	
つかむ	○教材の内容を想像し、新聞の特徴や構成など知っていることを出し合う。 ○新聞記事の書き手の意図を読み取るという学習課題について確認する。	【関】新聞記事について関心を持ち、進んで書き手の意図を読み取ろうとしている。	第1時	○実際の新聞の投書欄を見せたり、教科書P62, 63を読んだりして、新聞の投書について知る。 ○4つの投書の「書き方の工夫を見付け、それらを活用して投書を書く」という学習の見通しを持つ。	【関】投書を読んだり書いたりすることに関心を持ち、見通しをもって取り組みようとしている。	つかむ
深める	○新聞の特徴や役割、記事の構成と写真の役割について理解する。	【読】新聞の特徴や役割を知り、記事の構成や写真の役割などを読み取っている。C(1)イ	第2時	○4つの投書を読み、大体的内容を捉え、構成をつかむ。①話題提示②意見や主張③第1の理由や根拠④第2の理由や根拠⑤予想される反論⑥まとめ	【言】文の構成を目的とともに理解している。 伝国(1)イ(キ)	深める
	○内容の共通点や相違点を整理する。 ○見出しやリード、本文などを比較し、書き手の伝えたいことを読み取る。	【読】二つの記事を読み比べ、写真や見出しに気を付けて、それぞれの記事の内容やねらいの違いを読み取っている。C(1)イ 【言】新聞記事を読み、記事の中の表現の工夫について気づいている。 伝国(1)イ(ケ)	第3時	○どのような意見や主張、理由や根拠として、どのようなことがあげられているかを整理する。	【読】4つの投書の書き手の意見や主張、その理由や根拠を捉えている。 C(1)イ	
			第4時	○4つの投書の「読み手を説得する工夫」を見つかる。 ・自分の経験を述べる。・見たり聞いたりしたことを述べる。・資料にもとづく具体的な数値を使う。・有名な人の言葉を引用する。	【読】理由づけの仕方や根拠の挙げ方に気を付けて読み比べ、それぞれの書き手の説得の工夫を捉えている。 C(1)イ	
広げる	○記事の内容と写真から読み取った書き手の意図を踏まえ、効果的な見出しを考える。  (本時)	【読】新聞記事の内容と見出し、写真との関係を読み取っている。C(1)ウ 【書】記事の内容や写真に合う効果的な見出しを書いたり、書いた見出しの表現について助言し合ったりしている。 B(1)オ	第5時	○教科書の投書の中から、自分が納得できるものを選び、理由を考える。	【読】理由や根拠、自分の経験と結び付けて納得する投書を選んでいく。 C(1)ウ	広げる
	(総合…自分の意図が伝わるような新聞を作成する。)		第6時	○自分が選んだ投書について意見文を書く。  (本時)	【書】自分が納得する投書について理由を明確にして投書を書いている。 B(1)イ	
			第7時	○投書に取り上げる話題とそれに対する自分の意見、構成を考える。	【書】事実と意見を区別し、投書という目的に応じた工夫を行い、文章を書いている。 B(1)ウ	

			第8時	○考えた構成をもとに自分の意見を450字以内で書く。	【書】読み手に自分の考えが伝わるように、理由を明確にして意見文を書いている。B(1)イ
			第9時	○友達と互いの投書を読み合い、感想を伝え合い、説得の工夫をもとに投書を書くことができたか振り返る。	【読】説得の工夫を理解している。C(1)イ

6 本時の指導 (5/5)

(1) 目標

記事の内容と写真から読み取った書き手の意図を踏まえ、効果的な見出しをつけることができる。

(2) 展開

6 本時の指導 (6/9)

(1) 目標

自分が納得する投書について理由を明確にして意見文を書くことができる。

(2) 展開

	学習活動	指導上の留意点◇評価	渡り	学習活動	指導上の留意点◇評価	
つかむ (3分)	1 前時までの学習を想起する。  2 本時の学習課題を確認する。  2つの新聞記事について、書き手の意図を考えながら見出しを考えよう。	・学習計画をもとに前時までの学習の流れを確認する。		1 前時までの学習を想起する。  2 本時の学習課題を確認する  自分が納得する投書について、説得の工夫を考えながら意見文を書こう。	(国語リーダーが進める) ・学習計画をもとに前時までの学習の流れを確認する。	つかむ (3分)
見通す (5分)	3 課題解決の見通しを持つ。 ○見出しの特徴を考える。  ○見出しを考える前に書き手の意図を読み取ることを確認する。	・短い言葉で、言葉の順序を入れ替えたりして強い印象を与えるものが見出しであることを確認する。 ・《書き手の意図を読み取る》①2つの記事の同じところ②写真から読みとれること③リードで大体の内容をつかむ。		3 課題解決の見通しを持つ。 ○自分が選んだ投書について納得する理由を意見交流する。  ○投書を音読	・同じ投書を選んだ友達と交流し、自分が選んだ投書のよさを再確認させ、考えを深められるようにする。	見通す (10分)
深める (32分)	4 課題を解決する。 ○書き手の意図を考える。 ・書き手の意図について3つの観点で話し合う。 ・話し合ったことをもとにまとめる。	・①2つの記事の同じところ②写真から読みとれること③リードで大体の内容をつかむ。 ・友達と交流したことをもとにまとめる。		○意見文の構成を捉える。  ○説得の工夫のかたを確認する。	・「意見や主張」「理由や根拠」「反対意見に対する反論」「書き手の考え」の構成を確認する。 ・《説得の工夫》 ①自分の経験を述べる。 ②見たり聞いたりしたことを述べる。 ③資料にもとづく具体的な数値 ④有名な人の言葉の引用	

				4 課題を解決する。 ○「意見や主張」「理由や根拠」を考える。 ・使う言葉確かめる。	<ul style="list-style-type: none"> <li>意見や主張「～だと思う。」{～という意見だ。}</li> <li>理由や根拠「なぜなら～」「理由は…」「～だからである。」</li> </ul>	深める (27分)
	・書き手の意図を全体で確認する。			・文章を表す。		
				<b>【評価規準】</b> ◇読み手に自分の考えが伝わるように、理由を明確にして意見文を書いている。 支援を要する児童への手立て 4つの説得の工夫を確かめる。文末表現等に気をつけて書かせる。		
	○見出しを考える。 ・書き手の意図をもとに見出しを話し合う。	・書き手の意図をもとに見出しを考える。		○「反対意見に対する反論」「書き手の考え」を考える。 ・反対意見を聞く。 ・反対意見に対する反論をグループで話し合う。	<ul style="list-style-type: none"> <li>反対意見を聞き、見方を広げさせる。</li> <li>出された反対意見に対する反論を友達と考えることにより、文章を書くことが苦手な児童への書く手がかりとする。</li> </ul>	
	<b>【評価規準】</b> ◇新聞記事の内容と見出し、写真との関係を読み取っている。 支援を要する児童への手立て 写真やリードから、書き手の意図を確認する。					
	○考えた見出しを全体で発表する。	・写真や記事にあった見出しかどうか確認する。		○「反対意見に対する反論」「書き手の考え」を文章に書く。	<ul style="list-style-type: none"> <li>使う言葉の確認をする</li> <li>反対意見に対する反論「決して～」「～はずだ。」 考え「～だと思う。」「～である。」 「～が大切だ。」</li> </ul>	
まとめる (5分)	5 学習のまとめをする。	・見出しは写真にあったものやリードの内容を考えてつける。				
	6 本時の学習を振り返る。 ○今日の授業の感想を発表する。	(国語リーダーが進める) ・今日の学習で分かったことや、次時へのつながりを意識して振り返りをさせる。		○書いた意見文を全体で発表する。	・友達の書いた意見文の説得の工夫について確認する。	
	○次時の学習を確認する。	・学級新聞にも生かすことを伝える。		6 本時の学習を振り返る。 ○今日の授業の感想を発表する。  ○次時の学習を確認する。	(国語リーダーが進める) ・今日の学習で分かったことや、次時へのつながりを意識して振り返りをさせる。  ・岩手日報への投書を書くことを知らせる。	まとめる (5分)

(3) 板書計画

新聞記事を読み比べよう  
課題 二つの新聞記事について、書き手の意図を考えながら見出しを考えよう。

**書き手の意図を読み取る**

- ① (見出し) や写真の効果
- ② リードで大体をつかむ。
- ③ 記事の内容の同じところとちがうところ

(3) 板書計画

新聞の投書を読み比べよう  
課題 自分が納得する投書について、説得の工夫を考えながら意見文を書こう。

**意見や主張** くだと思いません。  
くという意見だ。

**理由や根拠** なぜならくだからである。  
《説得の工夫》

- ① 自分の経験を述べる。
- ② 見たり聞いたりしたことを述べる。
- ③ 資料にもとづく具体的な数値
- ④ 有名な人の言葉を引用

**反論に対する意見** くはずです。確かに くでもく